

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年11月21日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機 非常用ディーゼル発電機(6A)燃料系高圧ユニオン継手の取り合い部の減肉について】 6号機 非常用ディーゼル発電機(6A)の点検において、L-6燃料系高圧ユニオン継手の取り合い部に減肉を確認。当該継手部より漏油の痕跡がないことから、機能に影響はないと判断。 今後、交換修理予定。	GⅢ	11月19日
2	【5号機 非常用ディーゼル発電機(5A)冷却水海水ポンプ(A)吐出配管フランジ部からの冷却水滴下について】 5号機 非常用ディーゼル発電機(5A)の定例試験時に、冷却水海水ポンプ(A)の吐出配管フランジ部から、冷却水(海水)が微量に滴下していることを確認。 冷却水の漏えいは微量であり、機能に影響がないことを確認。 定例試験終了に伴い、冷却水海水ポンプを停止したことにより、冷却水の滴下が停止したことを確認。 今後、修理を実施予定。	GⅢ	11月19日